

製品名: DOCK 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10101**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	DOCK2
別名	DOCK2; KIAA0209; Dedicator of cytokinesis protein 2
遺伝子 ID	1794.0
SwissProt ID	Q92608
免疫原	ヒト DOCK2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

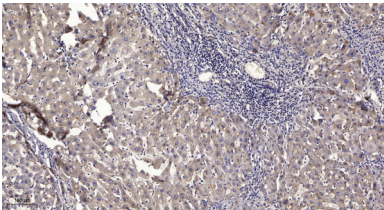
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CDM タンパク質ファミリーに属します。これは造血細胞に特異的に発現し、主に末梢白血球に発現します。このタンパク質は、ケモカインシグナル伝達にตอบสนองしてリンパ球の移動に必要なアクチン細胞骨格のリモ

デリングに参与しています。これは、結合した GDP を遊離 GTP と交換するグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として作用することにより、RAC1 や RAC2 などの Rho ファミリー GTPase のメンバーを活性化します。[RefSeq 提供、2016 年 10 月],domain:DHR-2 ドメインは GEF 活性を媒介する可能性があります。function:ケモカインに反応してリンパ球の移動に必要な細胞骨格の再編成に参与しています。おそらくグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として機能することにより、RAC1 および RAC2 低分子 GTPase を活性化し、結合した GDP を遊離 GTP と交換します。RAC2 の活性化を介して IL2 の転写活性化にも関与する可能性がある。類似性: DOCK ファミリーに属する。類似性: 1 つの DHR-1 (CZH-1) ドメインを含む。類似性: 1 つの DHR-2 (CZH-2) ドメインを含む。類似性: 1 つの SH3 ドメインを含む。細胞内局在: F-アクチンと共局在する。サブユニット: RAC1 および RAC2 と相互作用する。CRKL および VAV と相互作用する。CD3Z と相互作用する。組織特異性: 造血細胞で特異的に発現する。末梢白血球で高発現し、胸腺および脾臓では中程度の発現を示す。小腸および結腸では極めて低レベルの発現を示す。

研究分野

ケモカイン;Fc ガンマ R を介した貪食作用;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。